

ふれあい福祉講座を開催しました！



※写真は、社協職員等による寸劇の様子。事業の詳細は4～5ページに掲載

夏のボランティア体験事業…2～3頁

ふれあい福祉講座…4～5頁

法人・ふるさと会員一覧…6～7頁

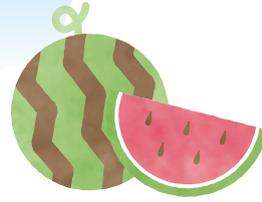
赤い羽根共同募金運動…8頁

私の町のふくし人 Vol.19…9頁

お知らせ…10頁

寄附者一覧…11～12頁

ティア体験事業



笑顔がみんなの笑顔に！

社会福祉への理解を深めてもらうため、夏休みを利用してボランティア活動の場を提供しています。昨年は災害があり中止しましたが、今年度は、市内の中学生・大学生105名の参加のもと、市内の福祉施設等でボランティア活動を行いました。

7/20 事前研修会

事前研修会では、ボランティア活動についての心構えを学んだ後、災害復興のメッセージボードを作成しました。その後、受入施設との活動調整を行い、それぞれの活動先を決めました。



災害復興のメッセージ作成中



みんなの思いが詰まった
災害復興ボードができました！

8/24 事後研修会

事後研修会では、体験したボランティア活動をみんなで共有し、Keep (良かったこと) Problem (難しかったこと) Try (今後挑戦したいこと) の3つにまとめ、発表を行いました。



グループワークの様子



各グループより発表



Keep
(良かったこと)

Problem
(難しかったこと)

Try
(今後挑戦したいこと)

Keep

- ・笑顔であいさつやお話ができる。
- ・ふだんできない体験ができた。
- ・仕事の内容や大変さがわかった。

Problem

- ・接し方が分からなくて戸惑った。
- ・園児同士のけんかへの対応が難しかった。
- ・あまり積極的に行動することができなかった。

Try

- ・もっと積極的に取り組む。
- ・他のボランティアにも参加してみたい。
- ・実際に介護もしてみたいと思った。 …などなど



2019 夏のボラン

がんばろう高粱！！あなたの

ボランティア活動中の様子



この夏休み、貴重な体験ができました！

夏ボラに参加して…



こばやし あきか
小林 旦佳さん
くらしき作陽大学

[活動先]

- ①NPO法人 color
- ②NPO法人発達支援ネットワークつむぎ

楽しく子どもと触れ合うことができました。また、保育だけでなく発達障害等の視点も学ぶことができ、将来の選択肢が広がりました。

夏ボラに参加して…



かわはら たくや
河原 巧弥さん
高粱中学校

[活動先]

- 落合保育園

最初は、中学最後の夏に何か取り組みたいと始めたことでしたが、ボランティアに行くと子どもたちととても仲良くなれ楽しい時間を過ごせました。良い経験となり、最高の思い出になりました。

施設・団体
からの
コメント

- みなさんに来ていただき、利用者の方々もいきいきとしていました。
- 暑い中での活動でしたが、しっかり動いてくれて、子ども達も楽しそうでした。
- 今回の活動を通して、福祉分野に興味を持ってもらえたら嬉しいです。



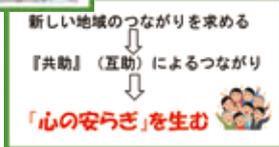
受入施設・団体の皆さまへ
貴重な体験の場の提供と本事業へのご協力ありがとうございました。

がんばろう高粱!!

令和元年度 ふれあい福祉講座

7月26日「がんばろう高粱!! みんなでつくる いきいきと暮らせる愛のまち たかはし ～ささえあい・たすけあいのまちづくり～」をテーマに、高粱総合文化会館で福祉委員や民生委員児童委員など約600人の参加のもと、ふれあい福祉講座を開催しました。

実践発表



中井地区社会福祉協議会は、住民からの「中井は何もしとりにやーせんが。もちーと考えてくれにやーおえんで!!」の発言がきっかけとなり、できることから始めてみようとして『コミュニティカフェ』の開設に向けて動き始め、平成30年1月31日に地域の憩いの場として「ほうこく茶屋」をオープン。月1回開店されています。

また、新たな取り組みとして地域住民のちよっとした困りごとに対応しようと、「中井町ちよっことお助け隊の会」を発足し活動されています。

今後の活動については、「他の地区をうらやましく思わない。身の丈にあった活動で少しずつ前進していきます」と話されました。



中井地区社会福祉協議会

副会長

丸山 英明さん
まるやま ひであき

実践発表



昨年の7月豪雨で甚大な被害を受けた倉敷市真備町の災害前後の住民の支え合いについて発表がありました。

被災された方とされている方の温度差(意識の差)や「被災した人はつらいと言えるがしていい私たちは言えない」と我慢して調子が悪くなる方もいると、住民が抱える心の葛藤についても話されました。

また、糸田団地での取り組みを例に挙げ、町内で「市から警報が出る前に、川の様子が危なくなってきたら逃げよう」と決めていた」と自主防災の大切さや、もう一歩踏み出して声をかけられる、もう一歩踏み出して助けてって言える地域の繋がりの重要性について語られました。



社会福祉法人 倉敷市社会福祉協議会

生活支援コーディネーター

山本 知穂さん
やまもと ちほ

記念講演

「地域をもっと元気に!!」

「今、自分出来ること」



事務局長

栗木 剛さん

mottoひょうご

栗木さんは、ご自身が被災された経験を踏まえ「怖いと思ったらその気持ちに従う感覚こそ一番の勇気」困っているときには我慢するのではなく困っていると言える習慣を付けることが大切」と話されました。

また、少数精鋭を育てることは悪くないが、その人も被災してしまうため、専門家を育てるより、ちよつとずつ知識をもった人が地域にたくさん居る方が良いと述べられました。

聴講者からは、「自分にもできることがあるんだと感じた」「みんなに話したくなる講演だった」との感想がきかれました。



寸劇

その他、社協職員および福祉委員による寸劇、ふれあいサロン団体や地区社協による作品展・販売もあり、たくさんのオリジナル作品を手取る来場者で賑わいを見せていました。



作品展示



いただいた法人・ふるさと会員

だるま屋商店
 丹下建設株式会社
 デイリーフーズ秋岡屋
 トミナガオートサービス
 株式会社 トリムス岡山工場
 株式会社 ナリケンテクノ
 成羽川生コン株式会社
 成羽食糧
 有限会社 成羽自動車
 成羽ポーターリー株式会社
 医療法人 宏仁会 まつうらクリニック
 有限会社 みやもと
 柳井芳文堂
(備中地区)
 赤木建設株式会社
 赤木酒造株式会社
 朝日堂
 グループホーム やすらぎ荘
 杉田商店
 丹正燃料
 七地屋
 株式会社 備中屋
 藤田商店
 逸見商店
 株式会社 ホンダカーズ高梁
 有限会社 松井組
(市外)
 株式会社 郁文社印刷
 ダスキン作州 有限会社 横山
 株式会社 前田サービス岡山

◆ふるさと会員
(高梁地区)
 大分県 阿部 暢夫
 京都府 伊藤 謙介
 大阪府 岩原 昌子
 兵庫県 浦田 棟正
 新見市 遠藤 敬子
 広島県 大西 しおり
 東京都 小野 志満子
 兵庫県 神野 陽子
 滋賀県 神吉 真弓
 兵庫県 亀山 修
 京都府 亀山 照美
 岡山市 川上 晋一郎
 岡山市 小林 克己
 京都府 小山 清子
 大阪府 鈴村 祐策
 総社市 須山 節夫
 倉敷市 妹尾 幸弘
 岡山市 多田 泰子
 岡山市 土田 千恵子
 愛知県 西 乗雄
 兵庫県 西林 将文
 岡山市 堀川 健治
 岡山市 松本 高志
 香川県 三宅 進
(有漢地区)
 大阪府 久保 二郎
 岡山市 小林 省二
 岡山市 米山 進

岡山市 藤本 照夫
 千葉県 村田 光範
 総社市 吉田 博光
(成羽地区)
 東京都 大塚 ゆり江
 兵庫県 仁後 寿男
 岡山市 藤井 良男
 大阪府 松田 進
(備中地区)
 茨城県 岡崎 博
 玉野市 田村 弘子
 赤磐市 高橋 順次
 新見市 難波 道典
 倉敷市 古米 完二
 東京都 古米 弘明
 倉敷市 物部 宣太郎
 新見市 山本 明子
 鳥取県 脇本 喜美恵

8月15日までの受付分を掲載しております。ご協力ありがとうございました。(順不同、敬称略)



令和元年度 賛助会員会費について

市内外の方々へご協力をお願いしております、令和元年度の賛助会員会費について、多くの皆さまにご理解ご協力を賜わり、ありがとうございます。

この会費は「ふれあいサロン事業」や「敬老事業」などの地域福祉活動を推進していく上で、欠かせない貴重な財源となっております。

引き続き、賛助会員を募っておりますので、会員制度の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

【賛助会員】

- **普通会員**
高梁市民 1口 1,000円
- **法人会員**
市内の法人(事業所を含む) 1口 3,000円
- **ふるさと会員**
市外居住者 1口 3,000円
- **特別会員**
特別な協力者 1口 5,000円

令和元年度 賛助会員会費にご協力

◆法人会員

(高梁地区)

株式会社 赤木組
社会福祉法人 旭川荘 たかはし松風寮
株式会社 阿新レジャー開発
イーグル工業株式会社 岡山事業場
有限会社 石池建設工業
石井乳業有限会社
株式会社 イマイ
有限会社 ウェルネス・プランニング
株式会社 N K岡山
オー・ケイ技建有限会社
有限会社 太田商会
オールスズギ販売有限会社
岡山県西部ヤクルト販売株式会社高梁センター
岡山県遊技業協同組合高梁支部
岡山総合会計税理士法人高梁事務所
有限会社 加藤商店
川上ラヂオ電気商会
有限会社 川口写真館
有限会社 共栄
株式会社 共栄商事
特定非営利活動法人 きらめき希望会
有限会社 弘栄工業所
甲子園観光株式会社
こころの医療たいようの丘ホスピタル
有限会社 坂市
三栄建設コンサルタント株式会社高梁支店
株式会社 山陽オカムラ
株式会社 三和サービス
松栄
ストアーササキ
有限会社 須山商店
大栄商事株式会社
有限会社 タイチ
高田工務店
高梁稻荷神社
高梁運輸株式会社
高梁川漁業協同組合

株式会社 高梁国際ホテル
有限会社 たかはしプロダクション
公益社団法人 高梁法人会
武田鑄造株式会社高梁工場
株式会社 竹本商事運輸
田中石材工業株式会社
株式会社 たにもと
株式会社 中国銀行高梁支店
中国労働金庫備中支店
有限会社 土田産業
株式会社 津々製作所
株式会社 T A C
株式会社 テクノス
有限会社 天任堂
株式会社 トマト銀行高梁支店
中村建設株式会社
有限会社 中村損害保険
中村豊工業有限会社
縄手商事株式会社
西医院
西医療商事有限会社
ニシヨウ株式会社
日軽形材株式会社
野田コンストラクション株式会社
株式会社 能登原商店
有限会社 野村商店
備中運輸株式会社
備北興業株式会社
備北信用金庫
びほく農業協同組合
株式会社 平野総建
福滝建設株式会社
有限会社 フジイ
堀金属表面処理工業株式会社岡山工場
株式会社 本多組
有限会社 まつ屋
株式会社 ママドライセンター
有限会社 三宅工務店
特定非営利活動法人 明愛会 備北介護センター

有限会社 森下設備
有限会社 森田商店
山本印刷所
株式会社 ゆめフク・ホーム

(有漢地区)

株式会社 アークコンサルタント高梁支店
いろり
有漢郵便局
有限会社 大月産業
岡山イーグル株式会社
河原板金工業
倉野林業
有限会社 クロエ
旬菜すいせん
有限会社 千崎建設
有限会社 戸田商会
有限会社 ハスイサービス
有限会社 原木材工業所
有限会社 平山電建
藤森モータース
芳烈酒造株式会社
丸五シーエス工業株式会社
マルサ醸造有限会社
山根商事有限会社
有限会社 山脇モータース
株式会社 夢ファーム有漢
有限会社 和田組

(成羽地区)

石田商店
伊藤食品有限会社
有限会社 太田建築所
大東建設株式会社
河内鮮魚店
クロカワ工業株式会社
小見山農機有限会社
柴田興産株式会社
成美工業株式会社
ゼノーテック株式会社備北工場
有限会社 高木建設



赤い羽根共同募金運動が10月から 始まります

運動期間：10月1日～12月31日

高梁市共同募金委員会では、戸別募金、法人募金をはじめ、市内のイベント等で募金運動を行います。あなたのやさしさが、あなたの声かけが、あなたの行動が、地域を変えていくはじめての一步となりますので、本年度も皆さまからのあたたかいご支援ご協力をよろしくお願いいたします。



イベント会場での募金運動の様子



▽お問い合わせ先

相談支援課	☎22-7243	成羽支所	☎42-2005
有漢支所	☎57-3218	川上支所	☎48-9770
		備中支所	☎45-3131

ご希望の方は、申請書の提出が必要です。申請書は、相談支援課および各支所、各地域市民センターに備えています。申請時には、特定医療費受給者証、特定疾患医療受給者証をご持参ください。

☆申請方法
令和元年10月15日(火)～11月20日(水)

☆受付期間
○指定難病(333疾病)の対象の方
○特定疾患治療研究事業(4疾病)の対象の方
○人工透析を受けられている方

☆対象者
高梁市社会福祉協議会では、高梁市共同募金委員会から配分を受け、次に該当する方々に慰問金の贈呈を行っています。



歳末たすけあい支援事業

「歳末たすけあい運動」は共同募金運動の一環として、新たな年を迎える時期に、支援を必要とする人たちが、地域で安心して暮らすことができるよう支援するものです。歳末たすけあい運動へのご協力をお願いします。

歳末たすけあい運動

11月1日～12月31日

お知らせ

高梁市共同募金委員会は、共同募金運動啓発資材グッズとしてオリジナル缶バッジ2種類を作製しました。本会および各地区イベントの募金コーナーにて1個300円で販売いたします。※売上金は、全額共同募金へ寄付をいたします。



私の町の
ふくしVOL.
19

ふくしとは、

ふ ぶつう (普段) の

く 暮らしが

し 幸せであること。

とされています。

このコーナーでは、そんな福祉のまちづくりのために地域で頑張っておられる方を紹介していきます。



Keiko Oku

奥 恵子さん

私の住んでいる地域は、松山城のふもとの国道と高梁川を挟んで反対側にある「八長」という100世帯ほどの地域です。

そこで、福祉委員として6年間活動し、また人と人との絆を深め安心して暮らせる地域づくりを目的に「八長福祉サロン」を立ち上げました。年6回開催するサロンでは、計画・立案・準備を行っており、大変なこともありましたが、皆さんが笑顔で楽しんでくださっている姿を見ると幸せを感じます。今年の4月からはサロンの代表を若い方に託しましたが、新しい発想で地域の方の楽しみにつながっているようで頼もしく感じています。

また、高梁市手話ボランティアの会の代表もさせていただいており、市内の小学校・中学校をはじめ地域のサロン団体等からもお声掛けいただき、福祉出前講座に行かせていただいています。この講座では、手話の普及推進、聞こえない方々とのコミュニケーションの取り方や聴覚障害者の方を少しでも多くの方に理解していただき、障害者の方が不安なく社会参加できるように活動しています。



私もそろそろ敬老会に呼んでいただける年齢になりましたが、学校の子どもさんを始め皆さんから若い気持ちやエネルギーをいただき、笑顔を元気の源にして頑張っていきたいと思っています。

敬老事業の助成金交付申請を受け付けています

永年にわたり地域の発展に尽力された高齢者を敬愛し長寿を祝う敬老事業（敬老会）に対し、助成を行います。

助成金の交付を希望される団体等は、申請手続きをお願いします。

※必ず開催前に申請をしてください。

▼対象事業

本年9月から11月末日までの期間内に実施する敬老会。ただし、現金や記念品等の贈呈のみの事業は除く。

▼対象者

令和元年8月1日現在で市内に住所を有し、令和2年3月31日までに満75歳以上になる方

▼助成金の交付額

対象者のうち、敬老会に参加された方1人当たり1,500円を助成

※この他に、敬老会実施地域内の在宅の方で満88歳（昭和6年4月1日〜昭和7年3月31日の間にお生まれの方）を迎えられる方1人当たり1,500円を助成

▼支給要件

① 複数の敬老事業で対象者が重複した場合は、1回のみ支給対象

② 実施区域は、町内会単位以上の規模での実施

③ 実施主体は、地域住民の創意工夫により、さまざまな地域内の団体・グループ等を対象

▼申請場所

地域福祉課及び各支所、各地域市民センター

寝具洗濯乾燥消毒事業の利用について

第2回目の寝具洗濯乾燥消毒事業を令和元年11月に実施します。希望される方は、10月11日（金）までにお申し込みください。

▼対象者

寝具類の衛生管理が困難で、次のいずれかの条件を満たす方

- ① 一人暮らしの高齢者・障害者
- ② 高齢者・障害者のみの世帯、またはこれに準ずる世帯の高齢者・障害者

▼対象品目

掛布団、敷布団、肌布団、毛布（シングル）の1セット（単品でも可）

※第1回目に第2回目の申請をされた方は、申請は不要です。

第4回

たかはし 高齢者・障がい者なんでも相談会 in 健康福祉のつどい

毎日の生活の中で、法律や福祉について困っていること、悩んでいることはありませんか。

この相談会では、安心して地域で生活できるように、法律や福祉などについてのご質問・ご相談、虐待や権利侵害に関するご相談などをお受けします。



- 日時 10月12日(土) 午前10時～午後3時
- 場所 高梁市文化交流館3階 講座室

高梁市生活あんしんサポートセンター

市社協では経済的問題、健康問題、家庭問題などさまざまな問題を抱えている方々の相談に応じ、必要な支援などを行うための相談支援窓口を開設しております。

相談日などは次のとおりです。

場所：高梁総合福祉センター

☎ 22 9111 (直通) FAX 22 0845

相談日時：月曜日～金曜日 午前9時～午後5時まで
休業日：土・日・祝日 年末年始



高梁市シルバー人材センター会員募集中

高梁市シルバー人材センターでは、高齢者の皆さんが今まで培ってこられた豊かな知識、経験、技術を発揮する場を提供しています。随時、会員を募集しておりますので、気軽にご相談ください。

▼会員の条件

- ① おおむね60歳以上で、健康で働く意欲がある方
- ② シルバー人材センターの趣旨に賛同し、入会説明を受け「入会申込書・就業承諾書」を提出された方
- ③ 市社協会長から入会を承認された方



お知らせについての問い合わせ先

- 地域福祉課 相談支援課 ☎ 22-7243
- 有漢支所 ☎ 57-3218
- 成羽支所 ☎ 42-2005
- 川上支所 ☎ 48-9770
- 備中支所 ☎ 45-3131

社会福祉協議会へのご寄附

ありがとうございました。

令和元年
7月～8月

社会福祉法人高梁市社会福祉協議会へ令和元年7月と8月にいただいたご寄附についてお知らせします。
心から感謝申し上げます社会福祉事業に活用させていただきます。
なお、金額等については寄附者の意向によって掲載しています。
(敬称は略させていただきます。)



【香典・玉串料・御花料返し】

《高梁支会》

金一封 津川町 福田 稔

(故・琴様)

金一封 落合町 古谷美喜夫

(故・多津子様)

金一封 落合町 佐藤 勇

(故・順子様)

金一封 松原通 山下 定男

(故・浦子様)

金一封 落合町 河原 博之

(故・富美様)

金一封 巨瀬町 大西 明男

(故・カシク様)

《高梁地区》

金一封 南町 中山 恭子

(故・敏夫様)

金一封 高倉町 新山 眞一

(故・智恵子様)

金一封 高倉町 和久利準一

(故・喜代野様)

金一封 上谷町 埴原 秀一

(故・都様)

金一封 下谷町 笹田 貢治

(故・松惠様)

《津川地区》

金一封 津川町 福田 稔

(故・琴様)

《川面地区》

金一封 川面町 西立 明

(故・千年様)

金一封 川面町 上森 基志

(故・荒一様)

金一封 川面町 大森 節子

(故・孝一様)

《巨瀬地区》

金一封 巨瀬町 大西 明男

(故・カシク様)

《中井地区》

金一封 中井町 藤井 高志

(故・清子様)

《宇治地区》

金一封 宇治町 長迫 里子

(故・良生様)

金一封 宇治町 笹部 宣己

(故・満千枝様)

金一封 倉敷市 小川 学

(故・長平様)

《松原地区》

金一封 松原町 岡崎 英夫

(故・照夫様)

《高倉地区》

金一封 高倉町 仲田 振三

(故・栄枝様)

《落合地区》

金一封 落合町 古谷美喜夫

(故・多津子様)

金一封 落合町 佐藤 勇

(故・順子様)

金一封 落合町 西本 隆之

(故・千代子様)

金一封 落合町 小林 誠

(故・澄男様)

金一封 落合町 横林 晴子

(故・勤様)

金一封 落合町 迫 克郎

(故・新山美好様)

金一封 落合町 河原 博之

(故・富美様)

金一封 落合町 竹中 恵子

(故・君子様)

《有漢支会》

金一封 岡山市 梶田 弘幸

(故・稔様)

金一封 有漢 西 一男

(故・千鶴子様)

金一封 有漢 鈴木 誠治

(故・八重子様)

金一封 上有漢 塚本 治朗

(故・敏夫様)

金一封 上有漢 大森 康弘

(故・緑様)

《成羽支会》

金一封 中野 高下 伸晃

(故・都様)

金一封 下原 荻野 雅子

(故・義春様)

金一封 下原 黒川 誠

(故・マスエ様)

金一封 布寄 内藤 利夫

(故・太郎様)

金一封 上日名 上田 保治

(故・民枝様)

金一封 成羽 森岡 好弘

(故・キミ様)

金一封 岡山市 内田 和秀

(故・愛子様)

金一封 成羽 小川 幸夫

(故・節夫様)

金一封 成羽 赤迫 孝

(故・英子様)

金一封 布寄 高下 裕二

(故・阿佐子様)

金一封 下日名 川上 緑

(故・順一様)

金一封 成羽 木口 賢次

(故・絹江様)

金一封 下原 官尾 章生
(故・佐知子様)

《川上支会》

金一封 三沢 山室 敏郎

(故・浩一様)

金一封 領家 宮本 早苗

(故・富夫様)

金一封 仁賀 三宅 格己

(故・金子基様)

金一封 総社市 西久保朋美

(故・嘉男様)

金一封 仁賀 三村 潔

(故・則子様)

金一封 三沢 長谷川敦史

(故・琴様)

金一封 地頭 田口 和宏

(故・隆志様)

《備中支会》

金一封 西油野 小林 直子

(故・清様)

金一封 西油野 村上 馨

(故・和枝様)

金一封 岡山市 屋敷 一政

(故・聖美様)

《一般寄附》

《高梁支会》

《高梁地区》

金一封 匿名

(社会奉仕として)

第422回、第423回目

米三俵 巨瀬町 野村 宏忠

(緊急食糧支援として)

《有漢支会》

《有漢地区》

金一封 有漢 有漢ゴルフクラブ

(一般寄附として)

《川上支会》

《川上地区》

金一封 仁賀 岡 辰登

(退院内祝いとして)



お詫び

第86号(7月15日発行)において誤りがありました。

お詫びして訂正いたします。

12ページ

(誤)

《一般寄附》

《有漢支会》

金一封 有漢 坂本 将

(退院内祝いとして)

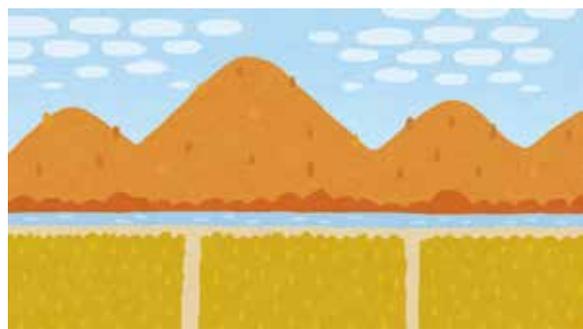
(正)

《一般寄附》

《有漢支会》

金一封 有漢 坂本 将洋

(退院内祝いとして)



編集後記

日に日に秋の色が濃くなり、吹く風が心地よい季節になってきました。特に朝晩は急に涼しくなりましたので、皆さんも体調管理にはお気を付け下さい。

さて、今号では昨年の豪雨の影響で2年ぶりの開催となりました夏のボランティア体験事業について掲載しています。

私もある高齢者施設でボランティア体験の様子取材させてもらいましたが、参加していた中学1年生の女子生徒に話を聞くと、「曾祖母が軽度の認知症になってしまったので、正しい関わり方を学ぶために参加しました」と話してくれました。

今回参加した105名も参加のきっかけは様々ですが、高齢者・障害者・園児等との関わりを通じて、それぞれが自身との違いに気づき、一生涯命考えながら活動を行っていました。この気づきを大切に、これからの生活を送ってほしいと願います。

なお、この事業は、生徒・学生に貴重な体験の機会を提供して下さる受入施設等の皆様のご協力により実施しています。

本市社協も引き続き福祉教育を推進して参りますので、ご理解とご協力をお願いいたします。(S)



この広報紙は、賛助会員会費および寄附金の一部を活用して発行しています